※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３(日本文教出版)						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰ、Ⅱで学んだことをより社会において実用的に使えるよう、自己中心的表現ではなく他者に見てもらい評価される主題にしている。展覧会や公募に出品し、社会から見た自分の評価を受け入れ、個人が社会に参加できるよう指導している。

・鑑賞では、優秀作品と自分の作品を比較し、自己の反省点を記入させることで、次の制作意欲を湧かせ、より完成度の高い作品制作ができるよう指導。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子 作品	ワークシート アイデアスケッチ等の下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞活動やグループワークシート アイデアスケッチ等の下絵 作品 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	高校展に向けて課題制作	【絵画・デザイン・版画・立体】 制作 自分得意な表現方法を選択し、各自でテーマを定め制作する。 人に見てもらう事を意識させ、雑にならないよう、隅々までキッチリ作業をするように指導する。	○	○	○		a:テーマを基に目的や条件などを考え、自己表現することに関心を持ち、制作を意欲的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせ、自己の表現を考え主題を生成し、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	（鑑賞）合評	【鑑賞】 互いの作品を鑑賞しあい、コンセプトを発表する。質疑応答の時間を設けて、他者の作品に興味を持つ機会をつくる。	○	○		○	a:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 d:作品から技術や技法を理解している。	レポート 活動シート 鑑賞活動の様子
後期	ダンボールアート（私の靴）	【立体・絵画・デザイン】 ダンボールを使って実寸大のスニーカーを作る。 着色はアクリルガッシュを使用 観察として４方向からのスケッチ。	○	○		○	a:デザインの法則や条件、用途などを考えて再現することに関心を持ち、制作に意欲を高めている。 b:目的や条件を満たすとともに、画材や表現形式の特性、モチーフや構成、配色の効果も考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:モチーフを観察することで立体構造と材質、デザインの特徴を理解しようとしている。	制作途中の作品 アイデアスケッチ 作品

※令和３年度以前入学生用

	美術史	【鑑賞】 グループワーク 毎時始めにグループワークを通して技法を学び、絵画について考察をまとめる。 テーマに沿ってレポートを作成する。	○	○		○	a:芸術作品に興味を持ち、作者、時代背景とともに理解しようとしているか。 b:グループ、個人、それぞれのワークシートで作品、作者、時代背景についての考察を練られているか。 d:作品を通し、芸術について体系的に理解しようとしているか。	鑑賞活動の様子 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。